

\*\*\*\*\*

西遠労務協会 メールマガジン No. 153

平成 28 年 9 月 23 日

\*\*\*\*\*

## 《 他の人のやったことが納得できない時には》

### ■ 興味深い話を聞いた

「この人は、何でこんなことをするんだろう。」

他の人がやったことが納得できないこと、それは誰にでもあると思います。少し前に、こんな興味深い話を聞きました。

### ■ 全く違う金魚のお墓

ある家で、飼っていた金魚が2匹死んでしまったのだそうです。

その家には、5歳と4歳の女の子がいました。娘たちから「金魚さんのお墓を作ってあげてもいい？」そう聞かれたお父さんは、「心のやさしい娘たちだなあ」と思い、「いいよ。つくってあげなさい」と答えたそうです。

娘2人はそろって庭に出て、お墓づくりを始めました。

5歳のお姉ちゃんは、穴を掘り続けていました。お父さんは、どれだけ掘れば気が済んだこの子は、と思い、「金魚を埋めるにはもう十分じゃないか、もうやめなさい!」。するとお姉ちゃんは、「だって、猫に食べられたらかわいそう」と答えたそうです。それを聞いてお父さんは、「そうだったのか」と、娘の優しさにグッときました。

一方4歳の妹はというと、たくさん落ち葉を集め、土の上に置いた金魚にザーッとその落ち葉をかけたのだそうです。「何やってるんだ! それじゃあ猫に食べられちゃうじゃないか!」お父さんは強い口調で妹に言いました。急に父親に怒られてびっくりしたその子は、泣きながら、「だって土の中じゃあ、暗くて金魚さんがかわいそう。」そう言ったそうです。

### ■ 人には前向きな意図がある

この話を聞いたとき、すぐにあることを思い出しました。それは、「人には前向きな意図がある」という言葉。自分にとっては理解できないこと、この人何でこんなふうにするんだろうと思うこと、理解不能で腹が立つようなことでも、相手にしてみたら何か前向きな意図があってやったことだ、ということです。

人は一人ひとり知識が違う、経験が違う、置かれた環境が違う、そして価値観が違う、だから対応方法が違う。それゆえ他の人のやったことがなかなか理解できない、それが普通です。ただ、「この人がこうしたのも、前向きな意図があつてのことなんだ」と考えると、自分と違うやり方を見ても冷静になることができますよね。そして、「あなたは どうしてこうしたの?」とその意図を聞いてみる。そうすれば「な一るほど!」と納得することができます。そしてそのうえで、「その考え方、やり方で本当にいいのか」をあらためて一緒に検討していけばよいのです。

それにしても。「深く掘らないと猫が食べてしまう。」上の娘のその言葉にすぐに影響されてしまったお父さん。この話から「人の前向きな意図」について考えると同時に、「人は、誰かの、何かの影響をすぐに受けてしまう」、たとえ相手が5歳の娘であっても。そんな人間の弱さ、そして良さとも言えるところを想った、金魚のお墓の話でした。